

みちづくし in 北九州 2021 実施報告

■主催：みちづくし in 北九州 2021 実行委員会

■共催：道守九州会議、国土交通省九州地方整備局、福岡県、北九州市、一般社団法人九州地域づくり協会

■後援：佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、福岡市、九州風景街道推進会議、一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団、公益財団法人北九州観光コンベンション協会、九州・沖縄「道の駅」連絡会、西日本高速道路株式会社

◎この事業の一部は、(一社)九州地域づくり協会、(一財)ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団、(公財)北九州観光コンベンション協会の助成金を受けて実施しました。



新型コロナウイルス対策を実施した上で、九州の道守さんが集結！ リモートでつなぐ初の試み！

令和3年11月30日から12月1日の2日間にわたり福岡県北九州市で開催された「みちづくし in 北九州 2021」は、九州各県から234名の道守さんや関係者が北九州市に集結しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場内のソーシャルディスタンスの確保のほか、コロナ禍におけるみちづくし初の試みとして、1日目の交流会をオンラインで開催し、九州各県にサテライト会場（会場数14会場、参加者：132名）を設け、メイン会場と結び、意見交換を行いました。また、交流会の状況をYouTube（最大同時視聴者数：58名）で広く配信しました。

今回のみちづくしのテーマは、
「**みんなで手をつなごう**」 連携の道守活動へ

「道守活動は一人ではなく、みんなで。」という道守活動団体の連携に加え、行政と民間・一般の方との連携を深めていこうという思いを込めて、行政との協働体制である道路サポーター制度が定着し、関門海峡を挟んで本州とつながる道をもっている北九州市で開催しました。

<主催者挨拶・来賓挨拶>

道守九州会議副代表世話人で実行委員長の玉川孝道からの主催者挨拶から始まり、来賓の生嶋亮介福岡県副知事、北橋健治北九州市長、藤巻浩之九州地方整備局長より挨拶をいただきました。



メイン会場の様子



サテライト会場の様子



YouTube配信状況



玉川実行委員長



福岡県 生嶋副知事



北九州市 北橋市長



九州地整 藤巻局長

< 功労者表彰・感謝状贈呈 >

長年にわたり道守活動を九州各地で続けられてきた **8名・団体の道守さんが功労者として表彰**され、また、道守活動に貢献・支援が認められる **2団体に感謝状と記念品**が道守九州会議樗木武代表世話人より手渡されました。

功労者表彰 受賞者

- ・道守ふくおか会議 道守おおむたネットワーク
- ・道守ふくおか会議 白石廣海氏
- ・道守佐賀会議 嘉瀬まちづくり協議会環境部会
- ・道守長崎会議 荒木光義氏
- ・道守くまもと会議 下町惣門会
- ・道守大分会議 後藤節子氏
- ・道守みやざき会議 旭建設株式会社
- ・道守かごしま会議 原口學氏

感謝状 受賞者

- ・(一財)ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団
- ・北九州市道路サポーターの会



樗木代表世話人より表彰



記念品：孫次風



記念撮影

< 基調講演 >

北九州市建設局長の東義浩氏を迎え、「北九州市の魅力と北九州市道路サポーター制度」と題して基調講演を行っていただきました。

講演の中で、北九州市の歴史や山口県下関市との関門連携、地域と行政の協働体制の好事例で先導的な取り組みの「北九州市道路サポーター制度」についての説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



北九州市 東建設局長

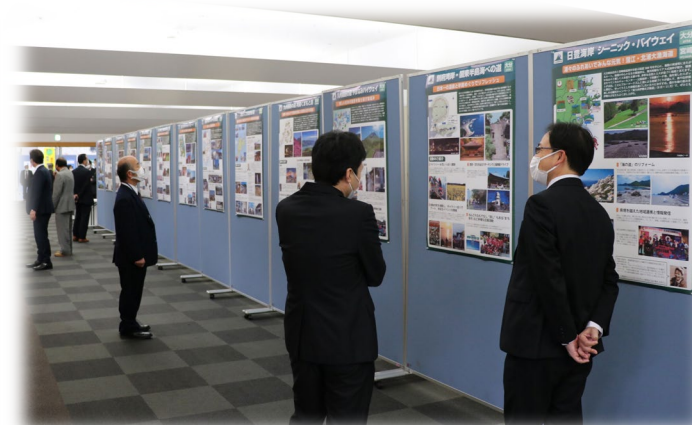


Teams、YouTube配信状況

< 休憩 >



北九州市PR動画



会場に設置されている各県道守活動のパネル



熱心に聴講する参加者



道守九州会議岡本博顧問(元整備局長)と記念撮影



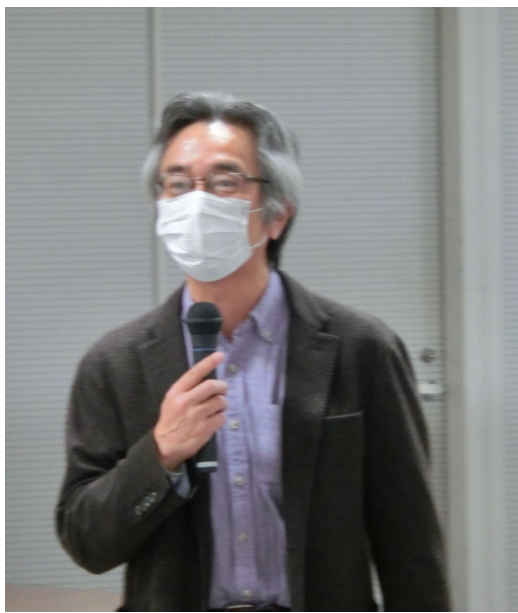
会場のパネル、参加者の声をサテライトに配信

<意見交換>

道守ふくおか会議 代表世話人の吉武哲信氏をコーディネーターとして、2つのテーマで各県会議からの報告・意見交換をメイン会場とサテライト会場をつないで行いました。

テーマ①では「**コロナ禍での道守活動**」として、新型コロナにより対面で会話する機会が激減した中でも工夫と知恵を駆使しながら実施している活動事例についての報告がありました。

テーマ②では「**行政との連携**」として、行政と道守団体、地域の方々との連携のあり方や協力関係について、報告がありました。



道守ふくおか会議
吉武代表世話人



意見交換の様子
(メイン会場)



意見交換の様子 (メイン会場)



意見交換の様子
(柳川市サテライト会場)



竹田市 土居昌弘市長の感想
(竹田市サテライト会場)

<大会旗授与>

大会宣言を経て、最後に次回開催地へ大会旗を受け渡し、交流会に幕を閉じました。

次回開催地は熊本県の阿蘇。

くまもと会議の阿南誠志氏、三保木悦幸熊本河川国道事務所長より、力強いお言葉がありました。



また1年後に皆様にお会いできることを楽しみにしています。

大会宣言

本日、私たち道守九州会議は「-みんなで手をつなごう- 連携の道守活動」を目指し、意見交換しました。

先進的な北九州市道路サポーター制度を現地で学び、行政との連携のみならず、世代を超えて道守同士、企業市民である企業などとの連携、日本風景街道や道の駅の皆さんと手をつなぎ、連携した活動を進めること、それが道守活動を一層、充実させ、広げてゆくことを学び、明日の地域づくりにつながると確信しました。

我々は、コロナ禍も知恵と工夫で乗り越え、道守活動を展開しました。「連携の道守活動」は、未来につながります。

さあ、手をつないで、前へ進みましょう

みちづくし in 北九州 2021
大会実行委員長 玉川孝道

<紫川散策>

交流会後、小倉市街地から紫川周辺の観光スポット等を巡る散策を北九州市が企画していただきました。紫川に架かる「火の橋」では点火イベントもあり、あいにくの雨でしたが、約60名の参加者は滅多に見ることのない機会を楽しんでいました。



みちづくし in 北九州 2021 現地体験学習

共通コース

2日目の現地体験学習は寒空のもと、62名が参加。まず、北九州市ボランティアガイドの案内で門司港レトロ地区の名所を通った後、北九州市道路サポーターの会の「NPO法人門司港レトロ花の会」団体が活動されている場所を見学し花植の体験。その後、「関門周回コース」と「門司港レトロ満喫コース」に分かれました。



花植体験の様子



NPO法人門司港レトロ花の会
北里幸良代表による説明



北九州市ボランティアガイドによる案内



花植体験後に記念撮影

関門周回コース

NEXCO西日本から関門橋・関門トンネルの説明があり、関門トンネル人道で県境を跨ぎ下関側へ。普段は一般の立ち入りができない関門トンネルの換気設備や排水設備も見学でき、大規模構造物の維持管理のスケールの大きさを感ずることができました。



関門橋を目指して



関門トンネル人道

門司港レトロ満喫コース

古くより歴史の大舞台として世界に羽ばたいた大陸航路の物語を知り、レトロな雰囲気漂う商店街やかつての高級料亭などから栄華の歴史を学びました。門司港各地に残された、歴史の足跡を訪れ、昔の人々の生活やかつての街並みに思いをはせました。



関門海峡ミュージアム



三宜楼



換気設備



排水設備（地下）



栄町商店街



門司電気通信レトロ館